

(介護予防)小規模多機能型居宅介護 オ・サーバaioi

病院から退院したが、まだ自宅で生活するには不安がある。家にも帰りながら徐々に体を慣らしていきたい。

必要な間泊まりサービスを利用しながら、自宅に戻る時間を設けて徐々に在宅生活に慣れるという利用のしかたもあります。

家族の仕事の都合で急な泊まりサービスが必要

急な泊まりサービスも利用できます(送迎あり)。予定の変更も随時承ります。



月額制のサービスなので、利用時間や回数をご希望に沿って利用できます。短時間の利用(食事だけ、入浴だけの利用など)もできます。

通いサービスを必要に合わせて柔軟に利用したい



小規模多機能サービス

例えばこんな利用のしかたがあります



家族が遠方において頼れる人が身近にいない。度々のぞいて困ったときは助けてほしい。

掃除や洗濯のような家事援助の他、服薬の確認や困りごとの相談、安否確認など。短い時間での訪問が可能です。訪問の回数に制限はありません。

家に閉じこもって体が弱るのが心配。デイサービスを利用してほしいが本人は乗り気でない。

はじめに職員が自宅を訪問してなじみの関係をつくり、徐々に散歩や外出の機会をつくっていくこともできます。訪問回数に制限がないので、頻回の訪問が可能です。

24時間 365日

施設にいる間も、自宅にいる間も、夜間も含めて在宅生活を切れ目なく支えるのが、「小規模多機能サービス」です。



(介護予防)小規模多機能型居宅介護
オ・サーバaioi

部屋に閉じこもってばかりでは体が弱ってしまわないか心配。
運動や他の方と交流できる場に
参加したい。

通いサービスを利用することで、
体操や散歩等の運動への参
加、同世代の方との交流の機
会を持てます。

身の回りのことで困った時には誰かに
手伝ってほしい。
自分ひとりで掃除や洗濯をするのは
大変。

急な予定の変更があって、
サービスの変更をお願いしたい

事業所のケアマネージャーが計画
を作ります。予定の変更も随時調
整します。

訪問サービスを利用することで、
家事支援や室内での身体介助
を受けることができます。

定期的に病院を受診しているが、
ひとりで外出したり先生とのやり取りを
するのは不安。

急に何か困りごとがあった時には
どうしたらいいの？

家族が受診同行できない場合は、
職員が代わって同行します。受診
中も病院内での付き添いを行います。

お部屋にナースコールが設置してあります。
押していただければ職員が対応いたします。

サービス付き高齢者向け住宅での生活で、
こんなお困りごとはありませんか？
小規模多機能型サービスではこんな利用ができます

